紀伊民報
2017年(平成29年)10月6日 金曜日 第22557号 日刊
(13) (月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円 <第3種郵便物認可>

愛媛国体

宮田選手が優勝

カヌー成年男子K―1 200メートル

第72回国民体育大会（愛媛国体）のカヌースプリント競技は4日、愛媛県大洲市で200㍍コースの各種目決勝があり、成年男子カヤックシングル（K―1）で県教育センター学びの丘（田辺市新庄町）の宮田悠佑選手（26）が優勝した。

宮田選手は2日にあったK―1の500㍍で準優勝している。200㍍は3日の予選で37秒057を記録して決勝へ進出。4日の決勝は37秒995で優勝した。2位の選手にリードを許していたが、ゴール直前にかわした。

宮田選手は「向かい風の中、最後に粘って優勝することができた。勝利に満足せず、この勢いでオリンピックを目指してこれからも頑張る」と喜びを語った。

宮田選手は福島県出身、鹿屋体育大学（鹿児島県）卒業。2014年の長崎国体は成年男子K―1の500㍍で準優勝した。15年の和歌山国体は500㍍で4位。16年の岩手国体は500㍍で6位、200㍍で5位だった。今年は日本代表選手にも選ばれている。目標にしている20年の東京五輪出場に向けて、国体で結果を出したことは大きな自信につながった。

県勢ではこのほか、少年男子K―1で田辺工業高校3年の川村洸輔選手（17）が44秒449で7位に入賞。成年女子K―1では、県教育庁（同市新庄町）の西山史扇選手（26）が47秒916で7位に入賞した。

愛媛国体カヌースプリント競技県選手団の谷地利和監督（45）＝田辺工業高校教諭＝は「県選手団はチームワークが良く、全員が国体に照準を合わせて勝負ができた。国体初優勝の宮田は日本代表ながらも今シーズンは悔しい思いをしてきたので、これをきっかけにさらに飛躍してほしい」と話した。

◇

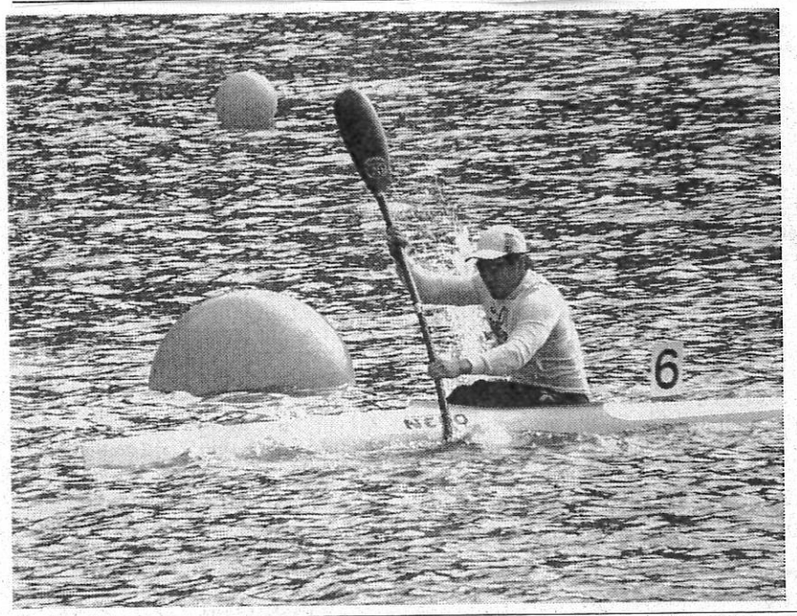
4日にあった愛媛国体のその他の競技で県勢の入賞者は次の皆さん。

【自転車】
⑥成年男子ケイリン＝橋本凌甫（県教育庁）

【ボウリング】
①成年女子団体戦（2人）＝川口茉紀（レンタルハウス）、山本菜由（和歌山大学3年）
⑧少年男子団体戦＝坂原慎平（和歌山北高校1年）、川崎未来（同3年）
③少年女子団体戦＝伊勢川華愛（和歌山北高校2年）、赤田稀歌（新翔高校3年）

【セーリング】
①少年女子レーザーラジアル級＝赤松里彩（桐蔭高校3年）

【卓球】
①成年男子＝日鉄住金物流（藤本海統、松下海輝、藤村友也）



国体のカヌースプリント成年男子カヤックシングルの200㍍で優勝した宮田悠佑選手（4日、愛媛県大洲市で）